1. 化学物質及び会社情報

製品 : 82086（RE54021）Melatonin EIA Kit

化学物質を含む製品詳細 : PNPP Stop Solution

会社情報
株式会社 免疫生物研究所
〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1
TEL: 0274-22-2889 FAX: 0274-23-6055
URL: http://www.ibl-japan.co.jp E-Mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp

危険有害性を有する化学物質 : 0.25 M（0.25 mol/L）EDTA

化学物質	CAS 番号	含有量 (w/w)%
エチレンジアミン四酢酸 （Ethylenediamine tetraacetic acid）	60-00-4	7.3%

以下、EDTA としての情報

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分 5
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1 (腎臓)

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分 2
水生環境慢性有害性	区分 2

（注） 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」です。

注意喚起語 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ
眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
長期又は反復ばく露による腎臓の障害
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に毒性

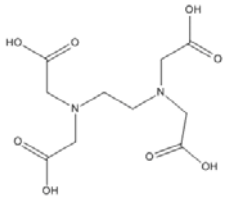
注意書き

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
適切な個人用保護具を使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
【応急措置】
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
漏出物は回収すること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名又は一般名	エチレンジアミン四酢酸
別名	EDTA（edetic acid）
分子式 (分子量)	$C_{10}H_{16}N_2O_8$ (292.25)
化学特性 (示性式又は構造式)	
CAS 番号	60-00-4
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

医師の手当て、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤 棒状放水

特有の危険有害性

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

関係者以外の立入りを禁止する。
風上に留まる。
密閉された場所に立入る前に換気する。
低地から離れる。

環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。

回収・中和 乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
飲み込みを避けること。粉じん、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
眼に入れないこと。皮膚との接触を避けるこ
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

保管

混触危険物質 『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管条件 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。
酸化剤から離して保管する。
強塩基から離しておくこと。
容器を密閉して冷乾所にて保存すること。
施錠して保管すること。

容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2005 年版) 未設定

ACGIH(2005 年版) 未設定

設備対策 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。

衛生対策 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態など

形状 粉末

色 白色

臭い データなし

pH データなし

融点・凝固点 データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 150℃ (分解) : NITE 総合検索 (Access on Sep. 2008)

引火点 データなし

燃焼性(固体、ガス) 不燃性 : ICSC (1999)

爆発範囲 データなし

自然発火温度 データなし

蒸気圧 <0.11mmHg : NITE 総合検索 (Access on Sep. 2008)

蒸気密度 データなし

蒸発速度(酢酸ブチル＝1)	データなし
比重(密度)	1.651(25/4℃) : NITE 総合検索 (Access on Sep. 2008)
溶解度	水 0.51g/L : NITE 総合検索 (Access on Sep. 2008)
オクタノール・水分配係数	logPow=-1.97 (計算値) : NITE 総合検索 (Access on Sep. 2008)
分解温度、粘度、粉じん爆発下限濃度、最小発火エネルギー、体積抵抗率(導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

加熱すると分解し、窒素酸化物の有毒なヒュームを生じる。

避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸化剤、強塩基、銅、銅の合金、ニッケル
危険有害な分解生成物	窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	**経口**	区分 5
	経皮	データなし
	吸入	
	吸入(ガス) :	分類対象外、GHS の定義による固体である。
	吸入(蒸気) :	データなし
	吸入(粉じん) :	データ不足のため、分類できない。
	吸入(ミスト) :	データ不足のため、分類できない。
皮膚腐食性・刺激性		区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性		区分 2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
	呼吸器感作性 :	データなし
	皮膚感作性 :	データなし
生殖細胞変異原性		分類できない。
発がん性		データなし
生殖毒性		区分 2
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)		区分 1(腎臓)
	区分 1(呼吸器系)、長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害	
吸引性呼吸器有害性		データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分 2
水生環境慢性有害性	区分 2

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。状態にする。
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	**海上規制情報**	I該当しない
	航空規制情報	I該当しない
	UN No.	I該当しない
国内規制	**陸上規制情報**	I該当しない
	海上規制情報	I該当しない
	航空規制情報	I該当しない

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）（政令番号：1-47)

16. その他の情報 特になし

ここに記載された情報は作成時の知見によるものですが、必ずしも完全ではありません。取り扱いには十分注意してください。

2012 年 6 月 17 日作成